

(様式3)

目標達成計画

事業所名 地域密着施設 グループホームひなた

作成日: 平成 31 年 2 月 25 日

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	33	自分たちの事業所では看取りの取り組みは行っていない。状態が低下し入院となったりしてからは他施設と連携を取り対応をしているが、入居時に十分な説明が行えていなかった。いざとなったら対応が遅れたり、次の行く当てがなくなるなどの問題を生じる可能性もある。	利用者、ご家ともに体調不良時、状態が低下した場合の不安がなく、安心して生活を送っていただくことができる。重度化した場合でもサービスが途切れず支援できる	入居時に利用者、ご家族に重度化した場合や終末期の希望を確認する。その上で事業所としての方針を書面で整備し明確にして説明する。また必要な他施設情報の提供を行う。 他施設の情報収集を行い、日頃から連携を取っていく。	1ヶ月
2	1	施設の理念の共有ができていない。理念も以前決められた物がそのままとなっていて、今いる職員の意見等が含まれていない。	職員が目指すこと、大切にすべきことを明確化し、皆で共有でき皆が同じ気持ちで意欲的に業務に取り組んでいくことができる。	今年度末のミーティングまでに皆の意見を聞きながら、理念を新たに作り直す。理念を職員の目に入るところに掲示し、毎月のミーティングにもそれに対して行えているか振り返りを行っていく	3ヶ月
3	52	共有スペースに個人の空間がなく周りを気兼ねすることなく過ごせるスペースがない。テーブル、椅子、ソファがあるが足を伸ばしたりできるところがない。	共有スペースで一人でも落ち着いてくつろげる空間が出来る	職員皆で過ごし空間作りについて検討する。テーブルスペースと足を伸ばして過ごせるじゅうたんのスペースを作る。衝立を用意し個人の空間作りを行う。	3ヶ月
4		利用者の方の食事時1人の職員と一緒に検食を食べることとしているが、一緒に食事を楽しむような雰囲気作りが行えていない。	食事の時間がただ食べるだけの時間とならず、楽しく楽しみとなるものとなる。	検食を食べる職員は一緒にテーブルに座り、会話をしながら楽しく食事が食べれるよう支援する。その他の職員もお茶を飲むなど一緒にテーブルに座り会話したりし楽しい雰囲気作りを心掛ける。 調理や盛り付けや配膳をできる利用者の方には一緒に行ってもらおう。 利用者の方の誕生日の日などにはその方と一緒に買い物に行き、食べたい物を購入し、皆で祝いながら食べてもらう。	1ヶ月
5		運営推進会議に利用者家族の参加がない。家族へ運営推進会議の内容の周知が行えていない。利用者の方が地域に出る機会が少ない。	今住んでいる地域、今まで住んでいた地域との関わる機会が持てる。	運営推進会議にご利用者ご家族にも参加していただく。 畝胃推進会議の内容をご家族に送付する。 施設のある地域、利用者の方の住まわれていた地域の行事や活動を把握し参加する。	6ヶ月